

平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	造園技術	単位数	4	履修学年・クラス	3B
担当者	使用教材 「造園技術」東京電機大学出版						
学習目標	○造園の施工と管理に必要な知識と技術を習得させ、造園の特質と造園緑化材料の特性を理解させると共に、基礎的な知識や応用事例などに基づき、実践的で高度な能力と態度を育てます。 ○職業人として、また社会人として適応し、能力を発揮できる人材育成をします。						
学習方法	○専門的な座学・実習を通して、技術と知識の深化・総合科を図ります。 ○3級造園技能士・2級施工管理士の資格を中心に、専門的知識・技術を身につけます。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	造園について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組もうとする意欲と態度を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	造園に対する自分の考えを適切に表現出来る。職業人としてのあり方を考え・表現出来る。				
	技	技能	造園技術・材料・維持管理・設計等、現場で実践的に活用できる知識を習得できている。また、3級造園技能検定実技試験合格レベルの技術を身につけている。				
	知	知識・理解	国家資格(3級造園技能士・2級施工管理技術検定)レベルの知識を理解している。 実験・実習を通して、教科書で学んだ知識を活用し、実践的かつ能動的に諸活動に取り組める。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	○オリエンテーション	・一年間の学習内容の説明 ・教科に対する興味関心の誘導	○				[関]造園に対して興味関心を持っている [関]自ら能動的に取り組む姿勢がある [思]実習を通し課題を的確に捉え解決しようとする [技]資格取得に向け、技術が身につけている [知]造園の基礎的な知識が身につけているか	実習評価 レポート 小テスト 考査
	○造園緑化材料	・樹種の分類と判定	○	○	○	○		
	○造園植栽施工	・樹木の植栽について ・樹木の繁殖について	○	○	○	○		
	○造園の歴史	・日本庭園の歴史と変遷 ・歴史の背景と文化 ・庭園様式の分類	○	○	○	○		
	○造園技能検定	・実技 ・学科	○	○	○	○		
前期末	○造園土木施工	・石工事について(石材の種類・名称) ・土木工事の基礎知識	○	○	○	○	[関]造園に対して興味関心を持っている [関]自ら能動的に取り組む姿勢がある [思]実習を通し課題を的確に捉え解決しようとする [技]資格取得に向け、技術が身につけている [知]造園の基礎的な知識が身につけているか	実習評価 レポート 小テスト 考査 造園技能検定
	○造園材料	・木材・竹材・金属・コンクリート材	○	○	○	○		
	○造園技能検定	・実技 ・学科	○	○	○	○		
	○庭園の設計	・卒業庭園の設計・計画 ・基礎的な設計・製図技術	○	○	○	○		
			○	○	○	○		
後期中間	○庭園の設計・積算	・卒業庭園の設計・資材積算	○	○	○	○	[関]造園に対して興味関心を持っている [関]自ら能動的に取り組む姿勢がある [思]実習を通し課題を的確に捉え解決しようとする [技]資格取得に向け、技術が身につけている [知]造園の基礎的な知識が身につけているか	実習評価 レポート 小テスト 考査 施工管理試験
	○造園土木施工	・小型建設系車両の運転 ・基礎工事・測量	○	○	○	○		
	○合理的な造園施工	・卒業庭園製作 ・作成庭園の研究	○	○	○	○		
	○2級造園施工管理士試験	・学科	○	○	○	○		
			○	○	○	○		
後期末	○門松作製	・門松作製 ・3年間の専門学習のまとめ	○	○	○	○	[関]造園に対して興味関心を持っている [関]自ら能動的に取り組む姿勢がある [思]実習を通し課題を的確に捉え解決しようとする [技]基本的な技術を応用し、作品製作ができる [知]造園の基礎的な知識が身につけているか	実習評価 レポート 小テスト 考査
			○	○	○	○		